

2015年3月期 上半期連結業績概要

執行役員
桃塚 高和

- ◆売上は過去最高の5,023億円。
営業利益は前年同期から64%増の279億円。
- ◆受動部品の売上・営業利益が半期ベースで過去最高。
(営業利益は前年同期から倍増)
自動車市場向け、中国・北米スマホ向け販売が好調。
- ◆フィルム応用製品は、1Qは低調も上半期では
前年同水準の利益を確保。二次電池が2Qから
北米スマホ向け販売が好調に推移。

2015年3月期 上半期連結業績概要

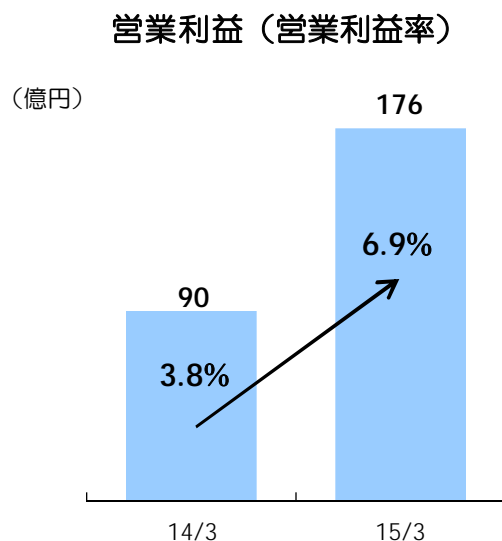
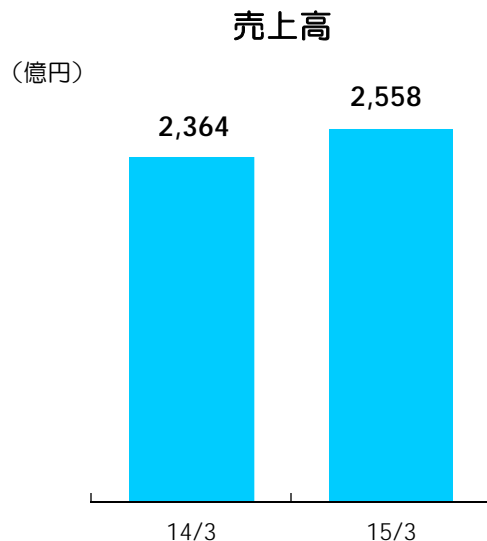


連結売上高は5,023億円、営業利益は279億円

(億円)	2014年3月期 第2四半期累計実績 (2013.4.1~2013.9.30)	2015年3月期 第2四半期累計実績 (2014.4.1~2014.9.30)	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	4,838	5,023	185	3.8
営業利益	170	279	109	64.1
営業利益率	3.5%	5.6%	+2.1pt	-
継続事業税引前利益	181	274	93	51.4
継続事業純利益	108	196	88	81.5
非継続事業純利益	△ 38	-	-	-
非支配持分利益	6	14	8	133.3
当期純利益	64	181	117	182.8
1株当たり利益 (円)	50.90	144.17	-	-
為替	対ドルレート (円)	98.88	103.02	4.2%の円安
	対ユーロレート (円)	130.04	138.96	6.9%の円安
為替変動による 影響金額	売上高：約169億円の増収 営業利益：約32億円の増益			

(注) 2014年3月期に非継続となったデータテープ事業及びブルーレイ事業に係る数値を組替え再表示しております。

売上高 2,558億円（前年同期比8.2%増）
営業利益 176億円（前年同期比95.6%増）



●セラミックコンデンサ

- ・ 堅調な自動車市場を中心に前年同期より売上増
- ・ 生産性改善により利益率向上

●インダクティブデバイス

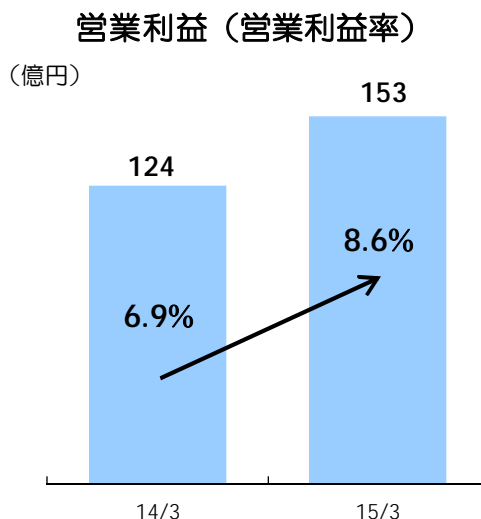
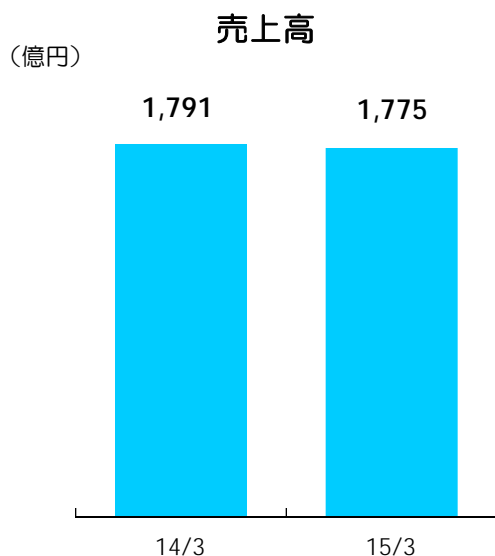
- ・ 好調なICT市場（特に通信機器向け）及び堅調な自動車市場向けで売上が増加
- ・ 品種構成の良化により利益拡大

●高周波部品

- ・ 旺盛な中国スマホ向け需要を中心にディスクリート製品の販売好調
- ・ 生産性改善効果や品種構成の良化により収益は大幅改善

●圧電材料部品

- ・ 自動車向け部品やカメラモジュール用VCMの販売増加により前年同期比増収増益



売上高 1,775億円（前年同期比0.9%減）
営業利益 153億円（前年同期比23.4%増）

●記録デバイス（HDDヘッド）

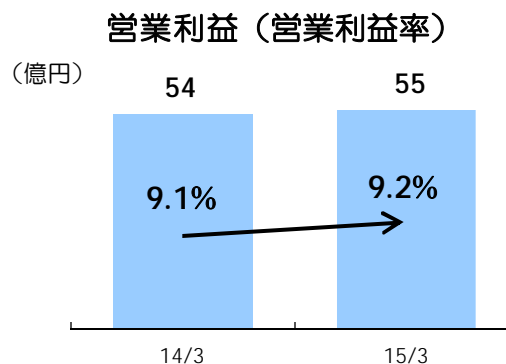
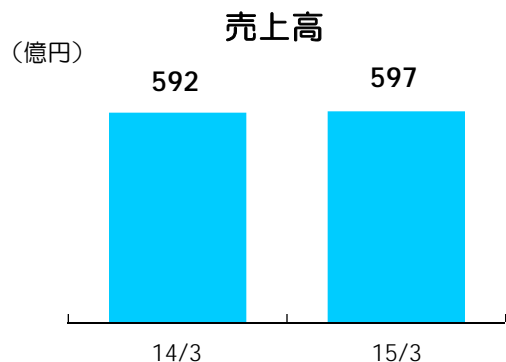
- ・出荷数量は前年同期より減少も、生産性改善効果や品種構成の良化により前年同水準の利益を確保

●マグネット

- ・前年同期に発生したフェライトマグネットの拠点集約費用がなくなったこと等により前年同期より赤字縮小

●電源

- ・半導体製造装置、FA機器、計測機器等の産業機器市場向け販売が堅調に推移し黒字化



売上高 597億円（前年同期比0.8%増）
営業利益 55億円（前年同期比1.9%増）

● エナジーデバイス（二次電池）

- 1 Qは北米主要顧客向け新機種販売前の生産調整により販売は低調だったものの、2Qから北米向け販売が大きく立ち上がるとともに、中国向け販売も拡大。

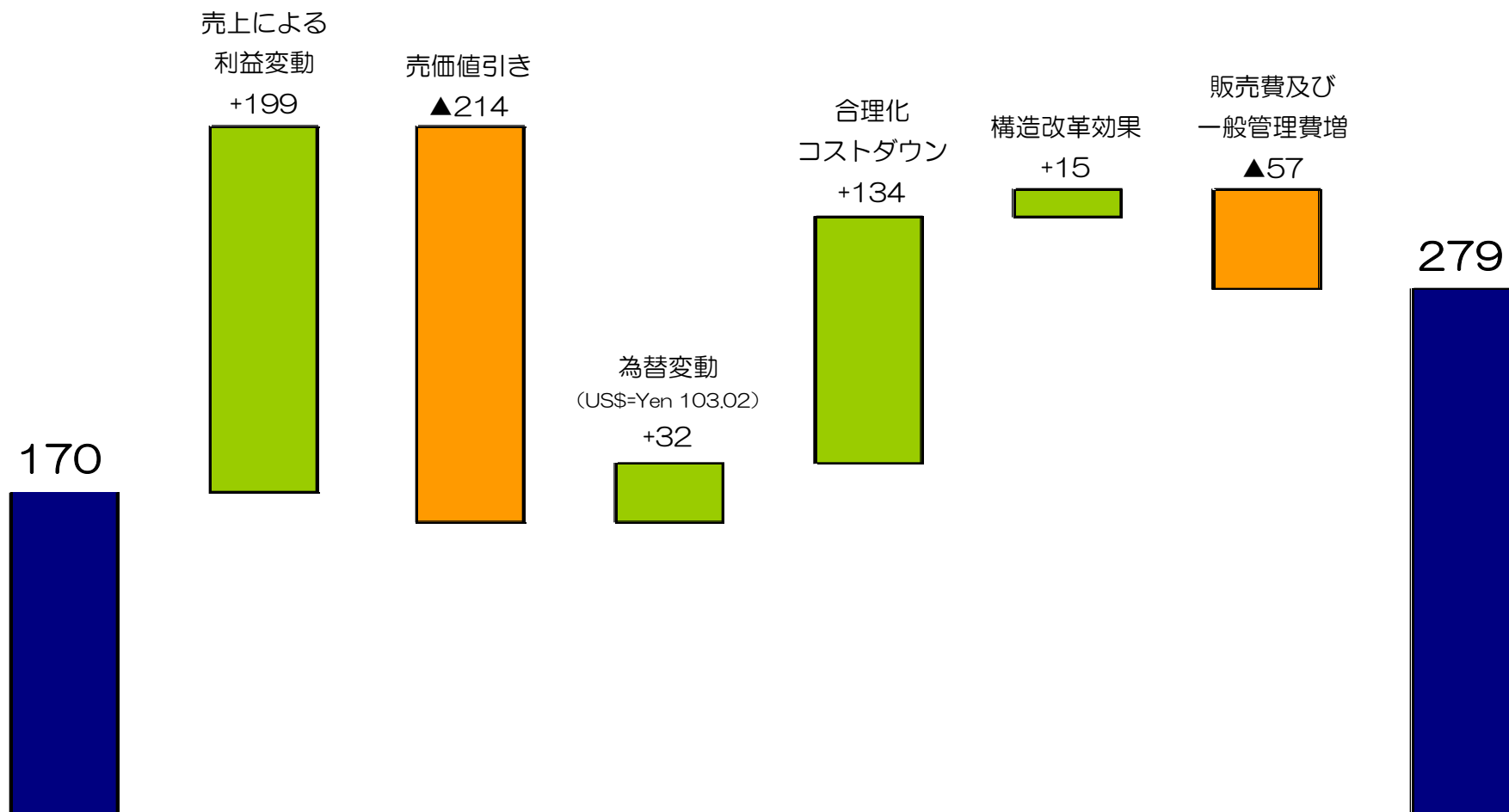
営業利益増減分析

2014年3月期
上半期
170億円

営業利益 +109億円

2015年3月期
上半期
279億円

(単位：億円)



2015年3月期 第2四半期連結業績概要



(億円)	2014年3月期 第2四半期実績	2015年3月期 第2四半期実績	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	2,494	2,648	154	6.2
営業利益	125	183	58	46.4
営業利益率	5.0%	6.9%	+1.9pt	-
継続事業税引前利益	129	170	41	31.8
継続事業純利益	93	133	40	43.0
非継続事業純利益	△ 33	-	-	-
非支配持分利益	△ 1	9	10	-
当期純利益	60	124	64	106.7
1株当たり利益 (円)	47.95	98.43	-	-
為替	対ドルレート (円)	99.02	103.86	4.9%の円安
	対ユーロレート (円)	131.11	137.77	5.1%の円安
為替変動による 影響金額	売上高：約111億円の増収 営業利益：約22億円の増益			

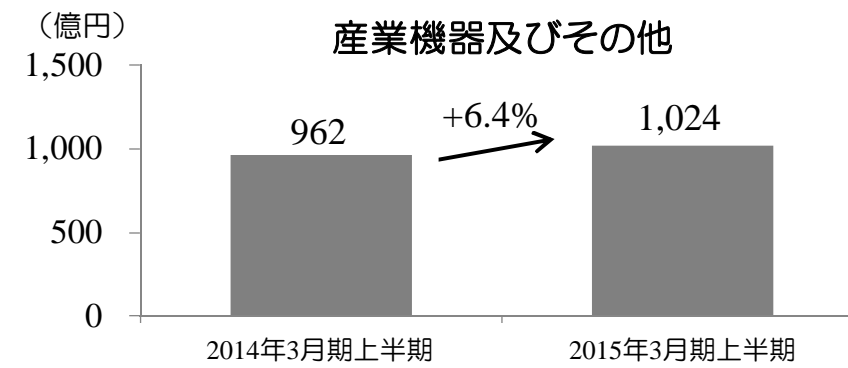
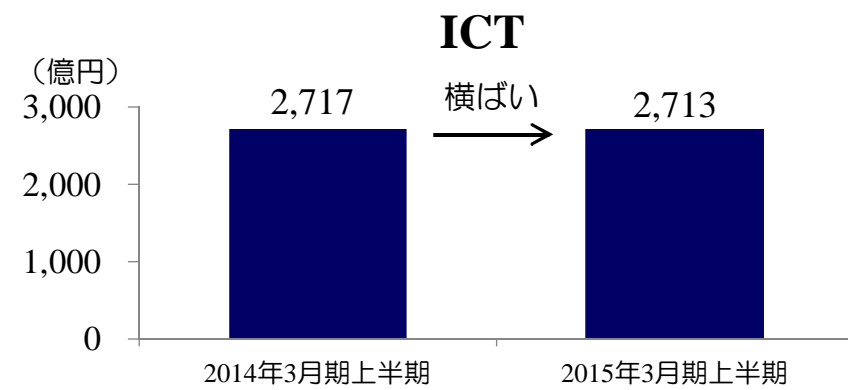
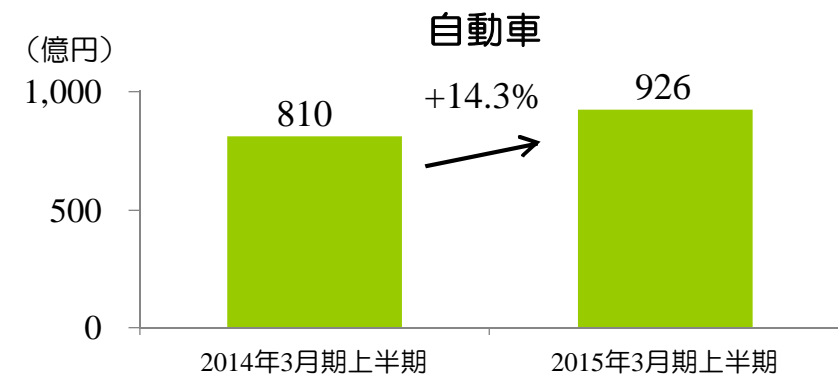
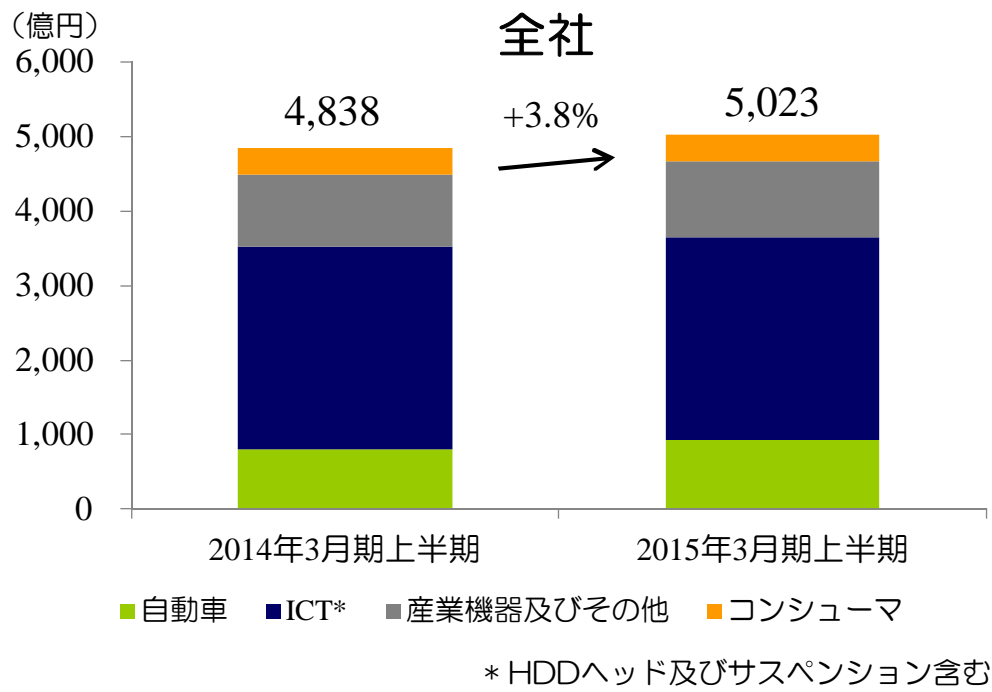
(注) 2014年3月期に非継続となったデータテープ事業及びブルーレイ事業に係る数値を組替え再表示しております。

セグメント別四半期実績



(億円)		2014年3月期 第2四半期 (A)	2015年3月期 第1四半期 (B)	2015年3月期 第2四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	351	365	373	22	6.3	8	2.2
	インダクティブデバイス	355	367	388	33	9.3	21	5.7
	その他受動部品	488	502	562	74	15.2	60	12.0
	受動部品合計	1,194	1,234	1,324	130	10.9	90	7.3
	記録デバイス	663	591	637	△ 26	△ 3.9	46	7.8
	その他磁気応用製品	266	280	267	1	0.4	△ 13	△ 4.6
	磁気応用製品合計	929	871	904	△ 25	△ 2.7	33	3.8
	フィルム応用製品合計	327	225	372	45	13.8	147	65.3
	その他	44	45	48	4	9.1	3	6.7
	合計	2,494	2,375	2,648	154	6.2	273	11.5
営業利益	受動部品	62	78	98	36	58.1	20	25.6
	磁気応用製品	78	71	82	4	5.1	11	15.5
	フィルム応用製品	33	3	52	19	57.6	49	-
	その他	△ 8	△ 4	1	9	-	5	-
	小計	165	148	233	68	41.2	85	57.4
	全社および消去	△ 40	△ 52	△ 50	△ 10	-	2	-
	合計	125	96	183	58	46.4	87	90.6
	営業利益率	5.0%	4.0%	6.9%	+1.9pt	-	+2.9pt	-
為替	対ドルレート(円)	99.02	102.17	103.86				
	対ユーロレート(円)	131.11	140.17	137.77				

重点分野別の売上



自動車：
受動部品の売上拡大

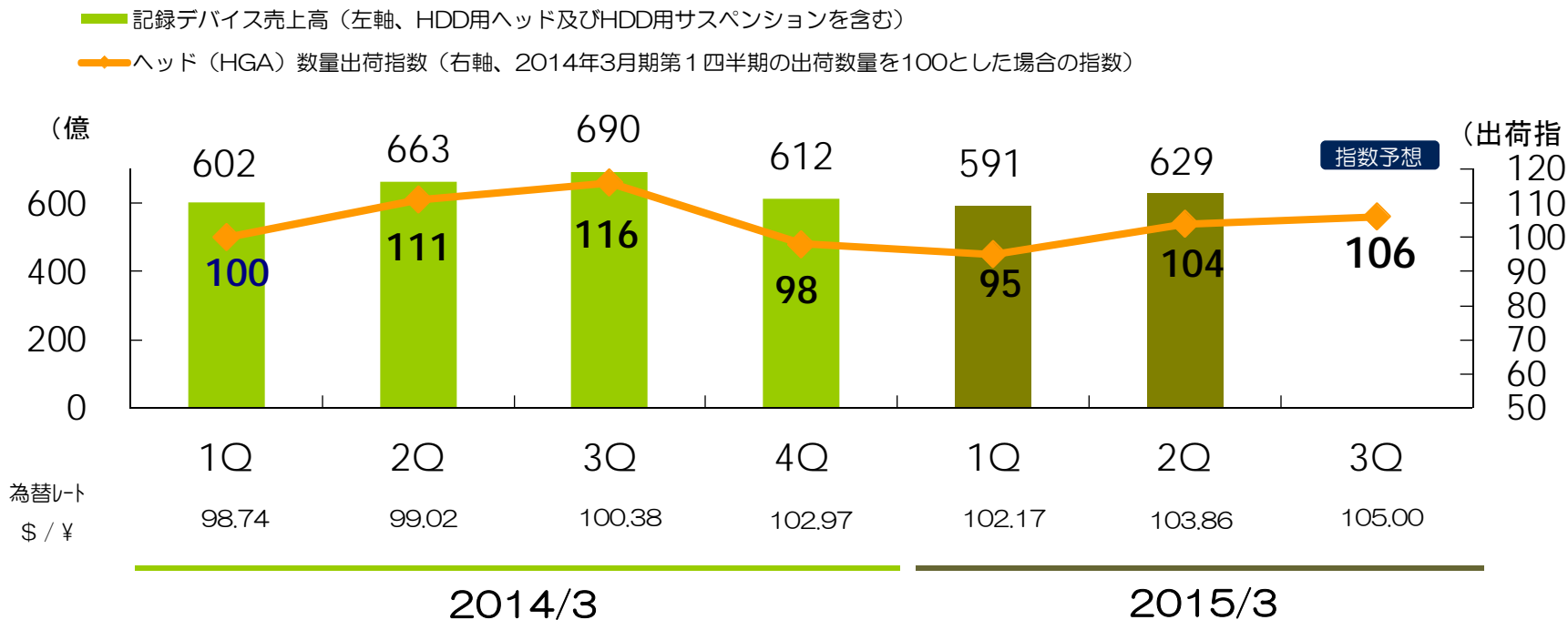
ICT（情報通信技術）：
受動部品の売上拡大
HDDヘッドの売上減少

産業機器及びその他：
産業機器向け電源の売上拡大

◆2015年3月期のHDD（ハードディスク）市場 ※当社推定

- 約5.35億台（4月末時点）
- 約5.52億台（7月末時点）
- 約5.60億台（現在推定、前回推定より800万台増加）

◆当社のHDDヘッド出荷指数推移



この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2015/2q_1.htm